

## 12 (自由提案部門)

事業名 暮らしを彩る枝・葉・花プロジェクト

実施主体 株式会社 鉄の歴史村

県担当課 林業課

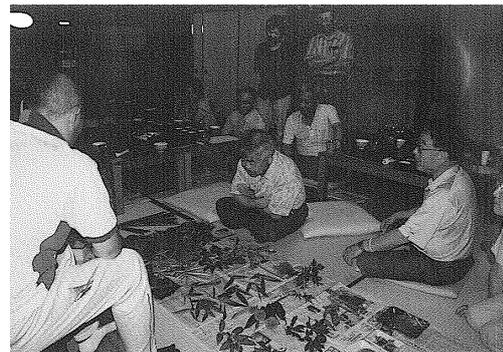
### 事業の成果

#### 事業の目的 [地域づくり]

- 枝・葉・花と、山林には未利用資源が豊富にある。これらを、室内外の装飾品として商品化を図ることにより、新たな産業創出のきっかけとなると同時に、山林の荒廃を防ぐことが出来る。さらに、高齢者の生きがいづくり及び所得確保も目的とした。

#### 事業の内容

- 現地視察研修として、料理に添える「つまもの」を商品化した「いろどり」産業の先進地である徳島県上勝町で、枝・葉・花の商品化への取り組みや、山林資源を守るために行われている環境保全活動、高齢者による産業への取り組みを学んだ。
- 長野県からアドバイザーを招き、山菜など、四季折々の素材を活かした調理や、軒先を枝葉で彩るイベントの開催等、山林資源の活用方法を学んだ。
- キッチンフォーラム等を通し、試供品提供とモニタリングを行った。
- マーケティング調査を実施し、山菜販売の基本戦略をまとめた。



#### 目的の達成状況 [概ね達成できた]

- 本事業による視察研修会や検討会を通して、メンバーが目的を共有することができた。また、モニタリングやマーケット調査を行うことにより、市場側の要望を知ることができた。

**反省点・改善点**

- 事業は、殊の外難しく、供給側の論理は通用しない。
- 需要をどう起こすか、来訪者をいかに迎え、いかに洗練させていくかというプロセスが必要である。(長い取り組みが出来るか。)

協働の効果

**県との協働内容** [ 協働して実施した ]

- 検討会議へご出席いただき、他の情報提供やアドバイスなどをいただいた。
- 地元における知事公聴会での装飾の場をご提供いただき、商品試供の一つとすることができた。

**県との協働効果** [ 概ね効果があった ]

- 検討会議において、アドバイスをいただいたほか、その後においても事例ご紹介などの情報を得ることができた。
- また、商品試供において公的な機会における試みを行うことができた。(場をご提供いただいた。)

**県への要望事項** [ 特にない ]

**反省点・改善点** [ 特にない ]

**市町村との協働** [ 協働できなかった ]

- 県事業であり、民間活動であることから、合併直後の行政(市)は、この事業に関心が低かった。

事業の継続

**事業成果の活用** [ 活用されている ]

- 昨年、最終会議で、具体的取り組みについて検討を行い、その実施に今年度着手した。
- プロセスの初期的取り組みとして、山野草、山菜部門に着手。
- また、ツーリズムの宿においては、季節ごとの装飾を継続して行っている。

**事業の継続状況** [ 助成を受けずに継続実施している ]

- 山林資源の採取を呼びかけている。
- また、加工施設を昨年整備し、現在、稼動に向けて準備中。
- 商品販売についても、ネット販売が可能なように、ホームページを開設した。
- 自主財源。

**協働による発展** [ 協働により発展できる ]

- 昨年度の事業を継続するため、市場調査についての情報ご提供やプロモーションに関するご協力を希望する。

